

地域連携 だより

彦根市立病院
〒522-8539 滋賀県彦根市八坂町1882番地
TEL : 0749-22-6050 (代)

問い合わせ先 彦根市立病院 地域医療連携室
TEL : 0749-22-6053 FAX : 0749-22-6093

いつもありがとうございます

令和3年度 新たなスタートをむかえて

彦根市立病院 院長補佐
地域連携センター長
北川 智美



新しい年度が始まりました。昨年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大にともない、全世界が災害とも言える状況に追い込まれました。当院では、早期から感染症医療のニーズに応えるべく診療体制を整えてまいりましたが、その際には、これまで保健医療圏域で培ってまいりました「顔の見える連携」が発揮され、病病連携、病診連携、看看連携等に支えられ、当院のみならず地域の連携によってコロナ禍を切り抜けることができました。皆様には厚く感謝申し上げますとともに、今しばらくは収束に時間がかかるとは思いますが、今後とも何卒よろしくお願いたします。

また、コロナ禍ではありましたが、地域の先生方からは多くのご紹介をいただきました。その結果紹介率・逆紹介率ともに増加いたしました。今後とも当院が地域の先生方や患者さんに信頼される地域医療支援病院であり続けるよう、ご要望等を伺わせていただき改善を図ってまいりたいと思います。

今年は桜の開花時期が早まり、満開を迎えておりますが、昨年は、未曾有のコロナ感染症に立ち向かうことが不安で、桜の花に目を向ける余裕もありませんでした。今年は桜を楽しむ余裕があります。ともに笑える日を楽しみに本年もどうぞよろしくお願いたします。



睡眠口腔外外来についてのご案内

* 昨年4月から睡眠歯科医療専門医が赴任しています

4

2021

平素より当院の病診連携にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

当科では、令和2年4月から歯科口腔の専門外来として、睡眠歯科医療の専門医が担当する『睡眠口腔外来』を開設いたしました。

この専門外来では閉塞性睡眠時無呼吸 (obstructive sleep apnea: OSA) によってお困りの患者様に対し、適切な口腔内装置治療 (OA) を提供するとともに、顎顔面骨格の不調和 (小顎症など) が要因と考える例には睡眠外科手術 (上下顎骨切り術) などの適応を考慮いたします。OA治療では医科歯科における良好な医療連携が望まれ、当科では、院内診療科間における連携とともに、近隣医療機関の諸先生方との病診連携をより充実させることにより、地域における睡眠医療の一翼を担うことを目指します。

当科では、医科から歯科への診療情報提供書に基づき健康保険を適応しOA治療を行います。気になるような症状、またOA治療の適応を迷われる患者様がおられましたら、お気軽にご相談いただければ幸いです。

歯科口腔外科統括部長：山田 剛也

睡眠口腔外来 診療日・担当医

睡眠口腔外来

第2・第4火曜日

14:00~17:00

完全予約制

睡眠口腔外来 担当医

古橋 明文 (非常勤)

愛知医科大学病院 歯科口腔外科 講師 (現職)

歯科医師・医学博士

日本睡眠学会

日本睡眠歯科学会

日本口腔学会

日本口腔学会

歯科専門医

指導医・認定医

専門医・認定医

認定医



閉塞性睡眠時無呼吸 (OSA)

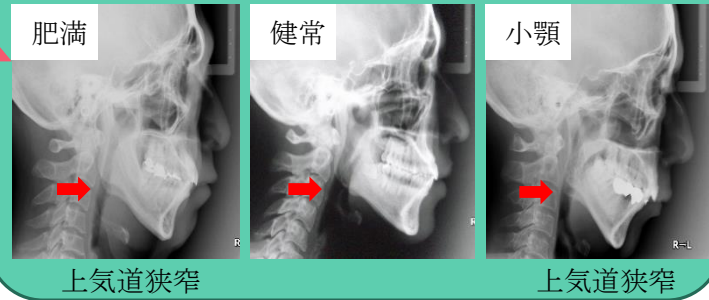
閉塞性睡眠時無呼吸 (OSA) は、睡眠中の無呼吸・低呼吸により、中途覚醒が生じ深睡眠が得られにくい病態です。大きなイビキや日中の眠気が代表的な症状であり、循環器疾患、脳血管障害などさまざまな合併症を起こすことや、居眠りによる交通事故の要因となることが知られています。QOLの維持のため、また事故などの大ごとになる前に、適切な治療をお勧めいたしますので是非ご相談ください。

口腔内装置治療 (Oral appliance :OA)

口腔内装置治療(OA)は、睡眠時に下顎を前方に保持するマウスピースを装着することにより、狭くなった上気道を拡大し、イビキや無呼吸の発生を予防する治療です。

◆【OSAの原因と検査・治療】

OSAの原因には、肥満により顎や首周囲に脂肪が増加し気道が圧迫されることや、顎が小さい・下顎が後方位にあることにより気道が狭窄することがあげられます。医科にて終夜睡眠ポリグラフ検査 (PSG) などにより診断し重症度を判定します。



◆【OA適応症】 軽症OSA・中等症OSA または CPAP使用困難症例

※CPAP使用困難な中等症・重症OSAにOA治療が有効であること¹⁾や、OA治療が継続可能で効果がある場合重症OSAにおいてCPAPとOAで心血管イベントによる生存率に差がないこと²⁾が報告されています。

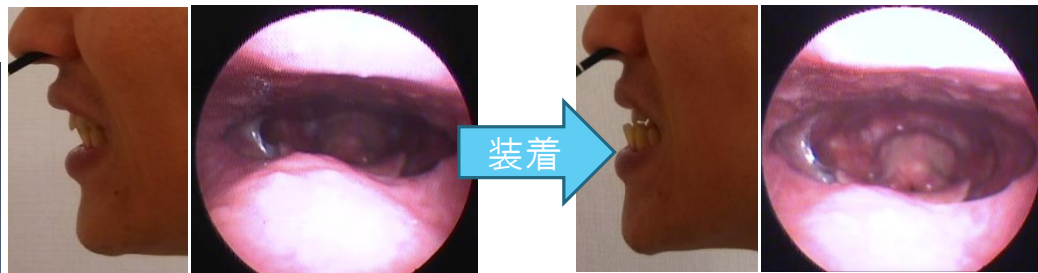
OAは上下の歯を利用し下顎を前方保持するため、下記の場合は治療を行えないことがあります。

- ・進行した歯周病、動揺歯を認める場合
- ・顎関節に異常がある場合
- ・未治療のう蝕歯がある場合
- ・残存歯数が少ない場合

【口腔内装置】



上下顎一体型 OA



中心咬合位

装着

下顎前方位

上気道拡大

* 要治療歯がある場合は、OA治療開始前にお近くの歯科医院での歯科治療をすすめさせていただき、治療終了後にOA治療を開始します。

◆【OA治療効果】

わが国におけるOA治療の多施設研究³⁾では、OA治療後にOA装着下での睡眠検査が行われた1050例 (平均年齢:54.9±13.2歳、平均BMI:23.9±3.5kg/m²) において平均AHIは、22.4±14.5/h (治療前) から9.3±9.2/h (治療後) へ減少し、OA治療による平均AHI減少率は52.0±43.7%であったと報告されています。

OAの形態はさまざまである中、わが国における健康保険診療で主に使用される上下顎一体型OAは、分離型OAと比較し、適切な調整が行われた場合、AHIをより減少させると報告されています⁴⁾

引用文献

- 1) Oral appliance treatment in moderate and severe obstructive sleep apnoea patients non-adherent to CPAP
K Gjerde et al. J Oral Rehabil. 2016 Apr;43(4):249-58.
- 2) Cardiovascular mortality in obstructive sleep apnoea treated with continuous positive airway pressure or oral appliance: An observational study
Anil Anandam et al. Respiriology. 2013 Nov;18(8):1184-90.
- 3) 閉塞性睡眠時無呼吸症の口腔内装置治療に関する多施設調査研究
奥野健太郎、古橋明文 他. 睡眠口腔医学 2017;3(2):133-138.
- 4) The efficacy of device designs (Mono-block or Bi-block) in oral appliance therapy for obstructive sleep apnea patients: a systematic review and meta-analysis.
H Ishiyama, D Hasebe et al. Int J Environ Res Public Health. 2019 Aug;31:16(17):3182.

矢野副院長退任のご挨拶

去る3月31日をもちまして、彦根市立病院で定年を迎えることができました。内科医、糖尿病専門医として臨床に携わり続けられましたことは大変光栄に思います。支えていただきました数多くの同僚をはじめ、彦根医師会・彦根歯科医師会・滋賀県の医療関係者の皆様に深く感謝申し上げます。

私は平成14年4月に当院に赴任しました。糖尿病診療をともに支えていただいたすでに退職しておられる諸先生方とともに、糖尿病診療レベルの引き上げ、コメディカルスタッフの育成に全力を傾注してまいりました。それが軌道に乗った頃黒江先生をお迎えし、その後菱澤先生が加わり現在の体制を維持しています。

患者さんを通して、患者さんの背景を探ること、問題点を抽出し患者さん個々の糖尿病にはそれぞれ別の原因があるのではないかと考えること、そして副作用の少ない治療を行うことを心掛けてまいりました。

毎週行われる入院患者さんのカンファレンスでは、診療方針を決めたり情報共有したり抄読会を行うなど、私自身も勉強する大きな機会をいただきました。

院内では、多職種で組織する糖尿病チームの立ち上げ、栄養科を中心の糖尿病患者会(みずうみの会)の創設、日本糖尿病療養指導士(CDEJ)の育成に頑張りました。

地域活動では、滋賀県全体で行うウォークラリーの立ち上げ、毎年11月14日の世界糖尿病デーにちなみ彦根城のブルーライトアップ、滋賀県糖尿病療養指導士(CED滋賀)認定委員会を立ち上げ、現在までに500人以上を認定、初期臨床研修医の教育などにも貢献できたのではないかと自負しております。

今後は、このまま彦根市立病院で診療を続けさせていただきますが、副院長職を終え、少し肩の力を抜いて頑張る所存ですので、変わらぬご支援のほどよろしくお願いいたします。

最後になりましたが、関係医療機関のますますのご発展と、先生方のますますのご健康とご多幸を心からお祈り申し上げお礼のご挨拶とさせていただきます。

3月をもって退職となった医師

糖尿病代謝内科	： 矢野 秀樹
消化器内科	： 桂木 淳志
呼吸器内科	： 奥野 雄大
整形外科	： 西村 康平
〃	： 澤田 修太郎
泌尿器科	： 城 文泰
〃	： 出口 真央
形成外科	： 胡内 佑規
麻酔科	： 石川 ゆうこ
歯科口腔外科	： 渡邊 真央
〃	： 夏目 ゆう子
在宅診療科	： 一岡 慶紀

今まで大変お世話になりました。
本当にありがとうございました。
ございました。

